

# 令和 3 年度 行政監査報告書

(地方自治法第 199 条第 2 項)

## 第 1 監査のテーマ

投票率向上への取組みについて

## 第 2 監査の期間

令和 3 年 10 月 22 日から令和 4 年 3 月 11 日まで

## 第 3 監査の目的

近年の各種選挙における投票率は、全国的にも低迷を続けており、大垣市においても同様の傾向にある。その時々々の社会情勢や候補者数によっても投票率は変動するが、国政選挙の衆議院議員総選挙（小選挙区）においては、平成 21 年に 68.44%であったものが、平成 26 年に 46.51%、平成 29 年には 48.47%、令和 3 年は少し上昇したものの 53.38%と大きく落ち込んでいる。市民に身近な地方選挙である大垣市議会議員選挙においても、平成 11 年に 65.81%であったものが、平成 31 年には 42.79%となるなど低下が顕著である。

また、平成 27 年 6 月 17 日の公職選挙法改正（施行：平成 28 年 6 月 19 日）により、選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられ、新たな有権者が増える中、若年層の投票率をいかに向上させるかなども、課題となっている。

そこで、大垣市の各種選挙における投票率の推移や投票環境の現状を分析するとともに、公職選挙法第 6 条に規定する選挙に関する啓発の実施状況等について検証し、今後の投票率向上に資することを目的に監査を実施する。

## 第 4 監査の対象

大垣市選挙管理委員会事務局

## 第5 監査の方法

大垣市選挙管理委員会事務局に調査票及び関係書類の提出を求め、必要に応じて関係職員の説明を聴取し、書類調査を実施した。また、選挙管理委員会事務局から監査委員へ投票率向上への取組みの概要等についての説明を受けた。

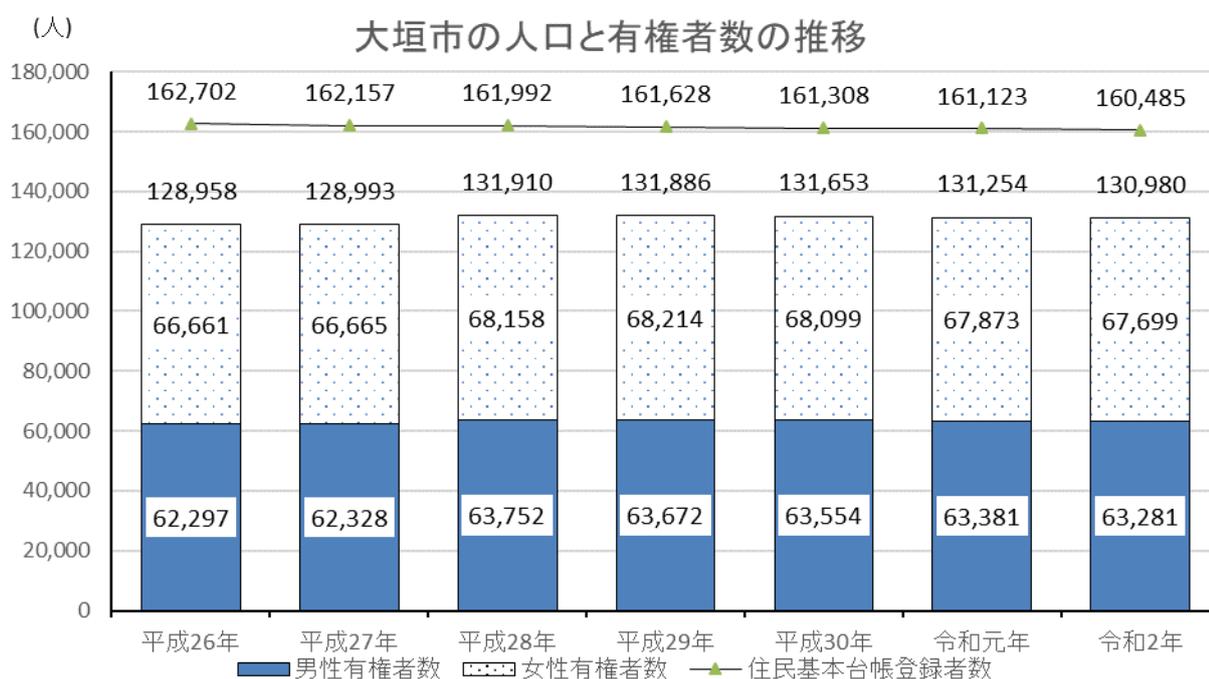
## 第6 監査の着眼点及び調査結果

- (1) 有権者数の推移について
  - ・平成26年から令和2年までの人口と有権者数
- (2) 投票区数について
  - ・投票区数の増減
- (3) 選挙種別投票率の推移について
  - ・衆議院議員総選挙における投票率の推移
  - ・参議院議員通常選挙における投票率の推移
  - ・岐阜県知事選挙における投票率の推移
  - ・岐阜県議会議員選挙における投票率の推移
  - ・大垣市長選挙における投票率の推移
  - ・大垣市議会議員選挙における投票率の推移
- (4) 年代別投票率について
  - ・衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移
  - ・参議院議員通常選挙における年代別投票率の推移
- (5) 投票環境の整備について
  - ・投票所の配置、駐車場、バリアフリー化
  - ・投票区投票所以外での投票
  - ・期日前投票
  - ・不在者投票制度
  - ・感染症対策
- (6) 啓発活動について
  - ・常時啓発
  - ・選挙時啓発
  - ・新たな選挙時啓発

## 第7 監査の結果

### (1) 有権者数の推移について

大垣市の有権者数の推移は、平成28年6月に施行された公職選挙法の改正により年令満18歳以上満20歳未満の者が選挙に参加できるようになり、有権者数は平成28年に2,900人ほど増加した。平成26年から令和2年までの大垣市住民基本台帳人口（各年度3月末現在）の推移はわずかではあるが減少傾向にある。



- 注) 1. 住民基本台帳登録者数は、各年度3月末現在の数字。  
2. 有権者数は各年9月時点の数字。

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
住民基本台帳登録者数	162,702	162,157	161,992	161,628	161,308	161,123	160,485
有権者数合計	128,958	128,993	131,910	131,886	131,653	131,254	130,980
男	62,297	62,328	63,752	63,672	63,554	63,381	63,281
女	66,661	66,665	68,158	68,214	68,099	67,873	67,699

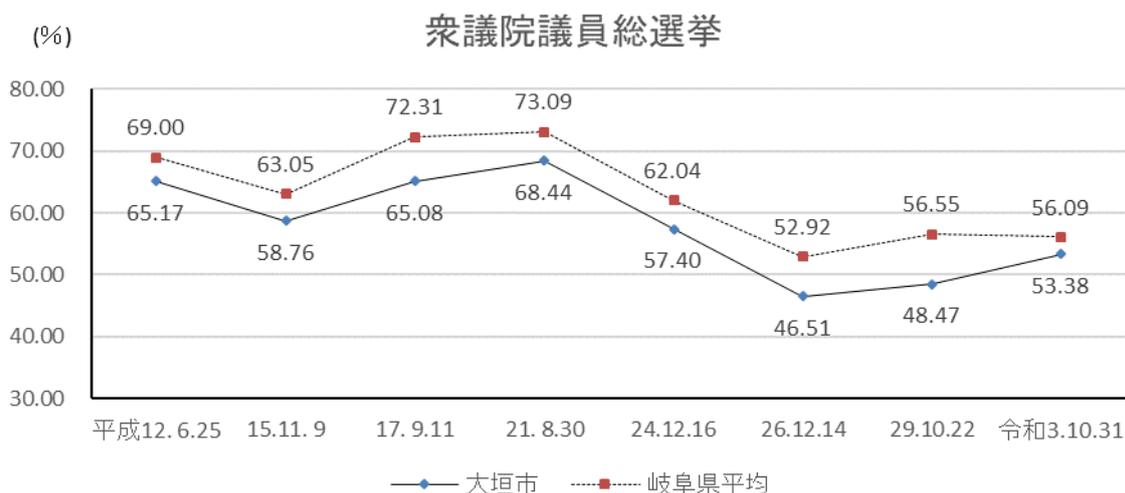
## (2) 投票区数について

大垣市における令和3年4月現在の投票区数は40か所である。令和3年1月岐阜県知事選から投票区数に変更があり、投票区の減少が1か所あった。東外側投票区として利用されていた大垣市保健センターには、休日・夜間の大垣市急患医療センターが併設されており、コロナ禍において重要性が増す中、保健衛生施設である同施設内での投票所設置は困難であるとの判断により、東外側投票区は郭投票区との統合により廃止された。これにより、投票区の数、41か所から40か所となっている。2つの施設の距離は、約500メートル程度であり、施設規模も問題なく、統合による影響は特に無かった。県内他市町で投票所の集約が進められる中、大垣市では有権者の利便性の維持のために投票区は大きくは減らされていない。

## (3) 選挙種別投票率の推移について

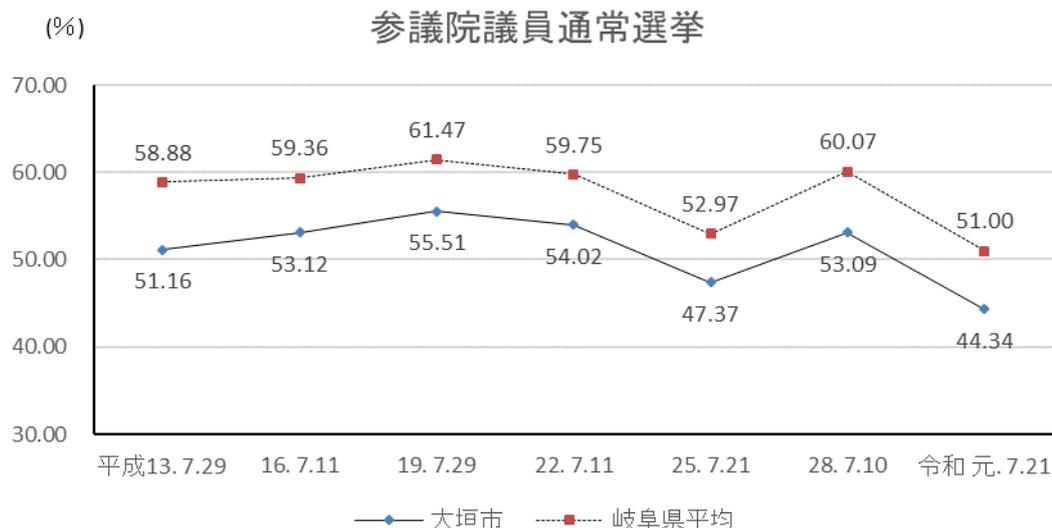
### 1) 衆議院議員総選挙（小選挙区）

大垣市の衆議院議員総選挙（小選挙区）の投票率の推移は、概ね岐阜県平均を下回っている。平成21年以降、投票率の低下が続いていたが、平成29年、令和3年には投票率の向上がみられる。



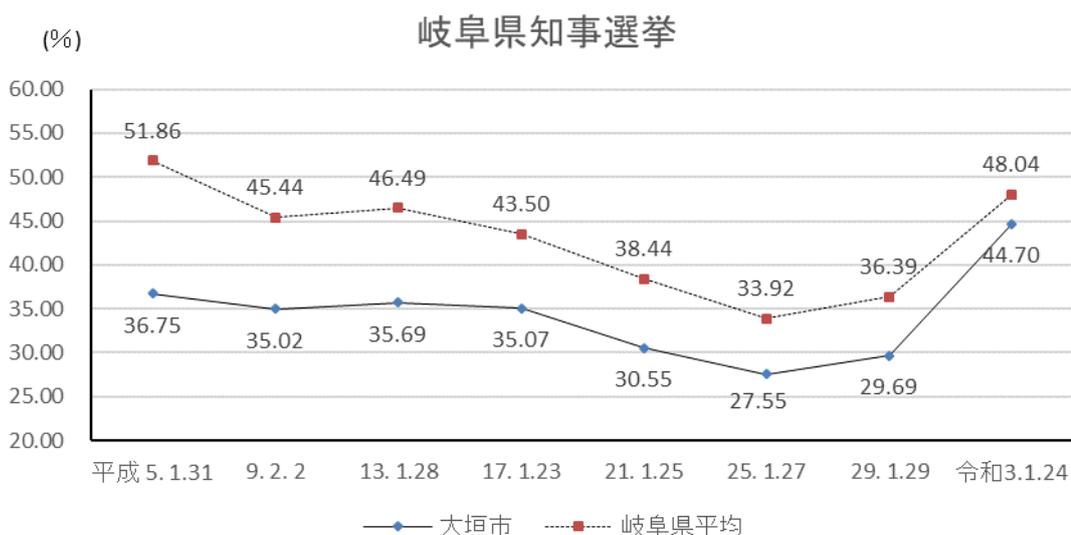
## 2) 参議院議員通常選挙（選挙区）

大垣市の参議院議員通常選挙（選挙区）の投票率の推移は、概ね岐阜県平均を下回っている。平成13年から平成22年まで50%台で推移してきたが、平成25年に40%台に低下、平成28年に一旦上昇がみられるが、令和元年に再び40%台に低下している。



## 3) 岐阜県知事選挙

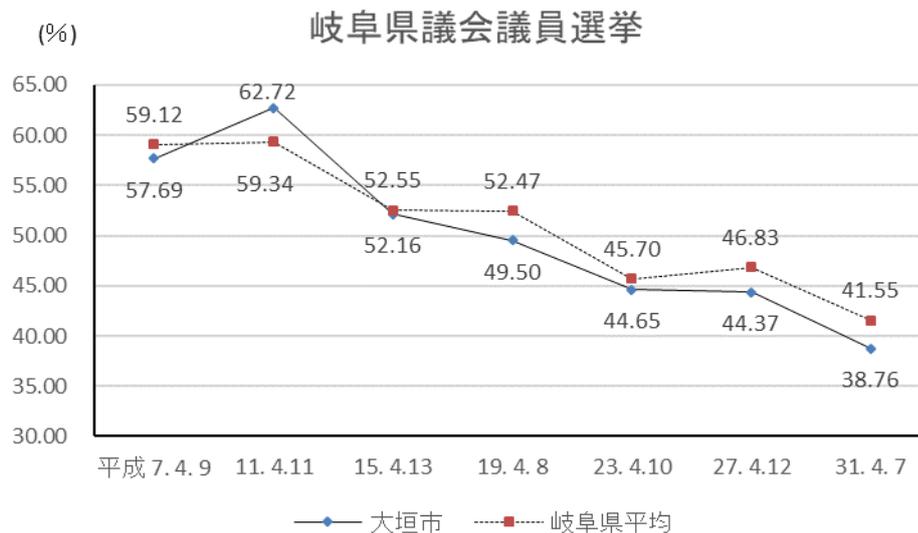
大垣市の岐阜県知事選挙の投票率の推移は、概ね岐阜県平均を下回っている。平成5年から徐々に下降が続き、平成25年、平成29年は20%台となったが、令和3年の投票率に大きな上昇がみられる。



※平成5年と平成9年の岐阜県平均の数字は岐阜県のホームページより

#### 4) 岐阜県議会議員選挙

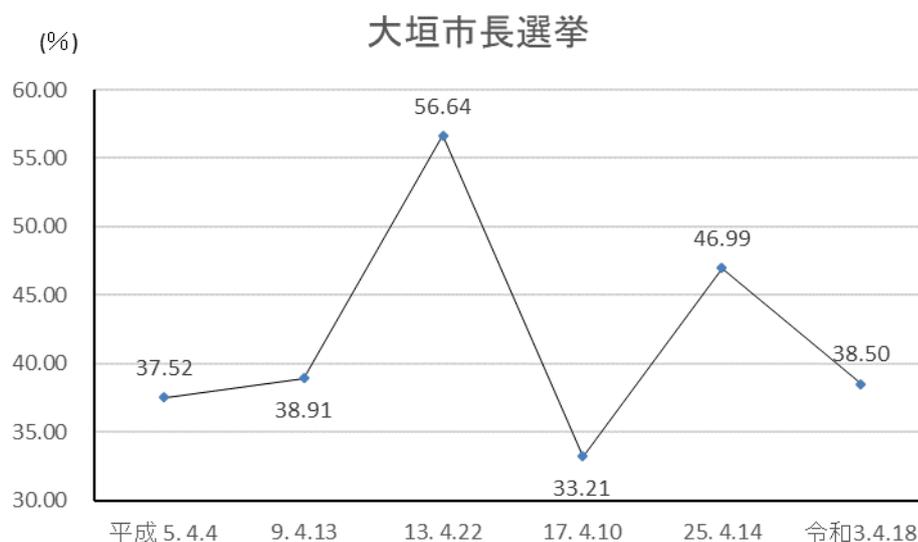
大垣市の岐阜県議会議員選挙の投票率の推移は、概ね岐阜県平均を下回っている。平成11年には投票時間の延長により投票率の上昇がみられるが、以後、下降傾向が続いている。平成11年に60%を超えていたが、平成31年には40%を割り込んでいる。



※平成7年から平成19年の岐阜県平均の数字は岐阜県のホームページより

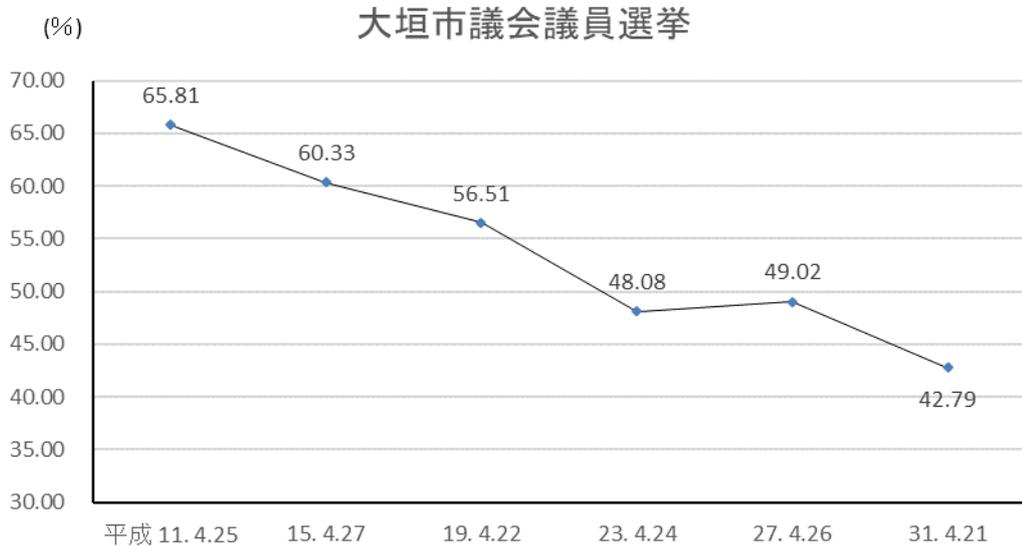
#### 5) 大垣市長選挙

大垣市長選挙の投票率の推移は、実施年ごとに大きく上下している。平成13年、令和3年は、立候補者が新人のみで新市長が誕生した。平成21年、平成29年は無投票選挙であった。



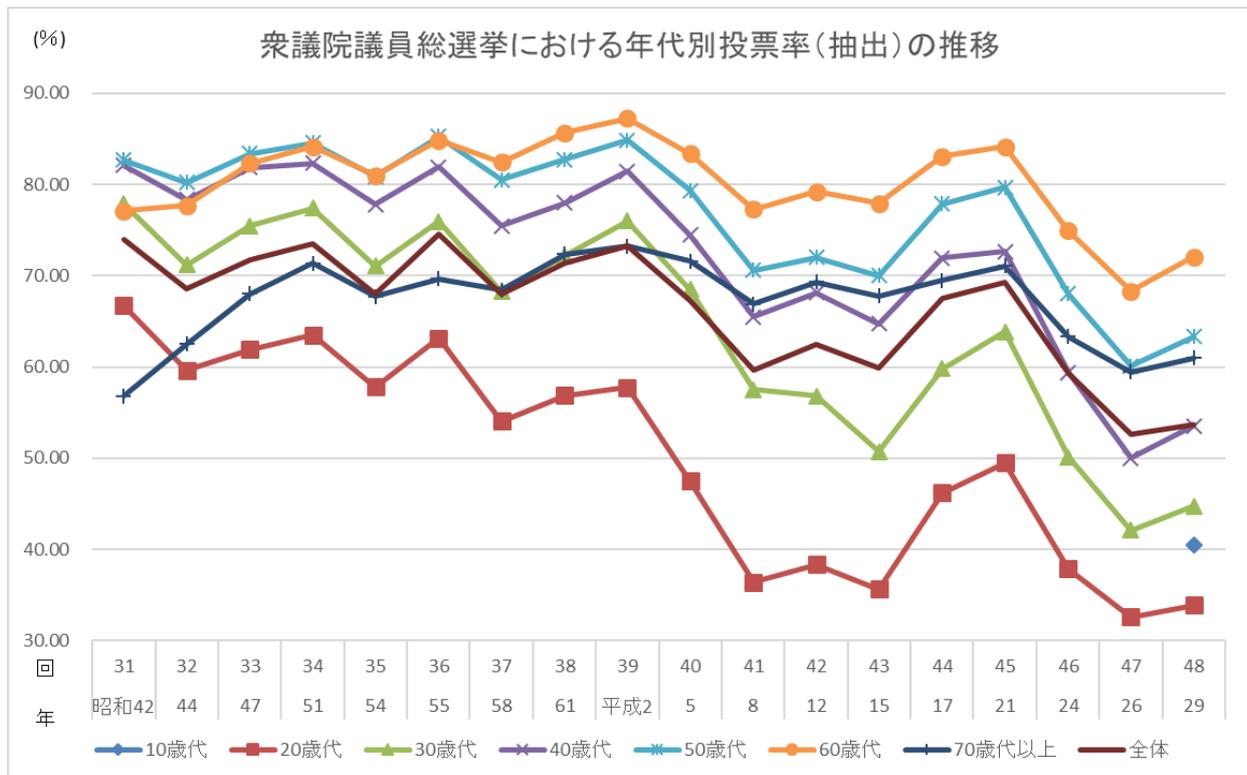
## 6)大垣市議会議員選挙

大垣市議会議員選挙の推移は、平成27年にわずかながら上昇するものの下降傾向が続いている。平成11年に65.81%であったが、平成31年42.79%にまで大きく低下している。



## (4) 年代別投票率について

総務省のホームページから衆議院議員総選挙及び参議院議員通常選挙の年代別投票率（抽出）の推移の表を下に示した。

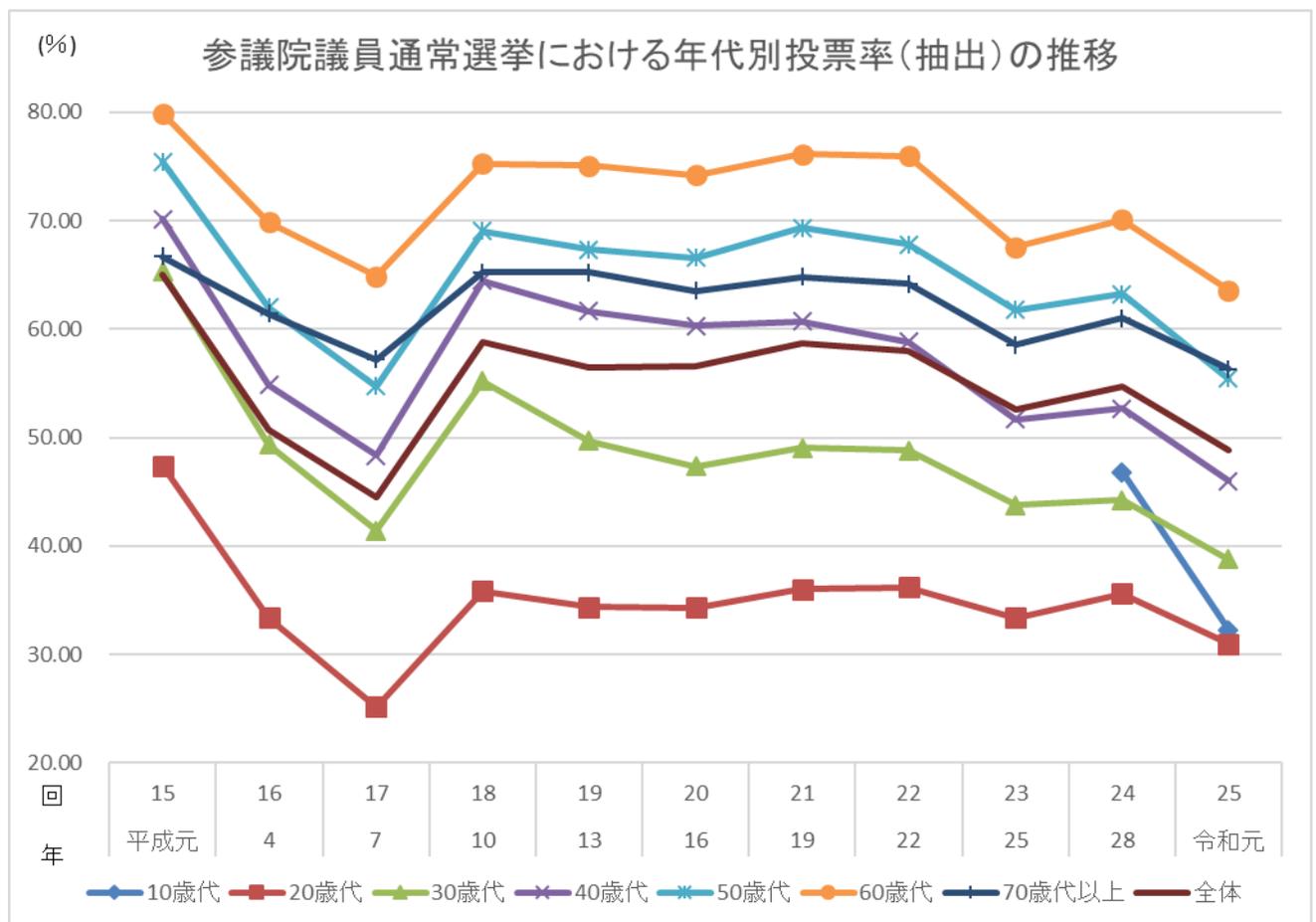


年	昭和42	44	47	51	54	55	58	61	平成2	5	8	12	15	17	21	24	26	29
回	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.49
20歳代	66.69	59.61	61.89	63.50	57.83	63.13	54.07	56.86	57.76	47.46	36.42	38.35	35.62	46.20	49.45	37.89	32.58	33.85
30歳代	77.88	71.19	75.48	77.41	71.06	75.92	68.25	72.15	75.97	68.46	57.49	56.82	50.72	59.79	63.87	50.10	42.09	44.75
40歳代	82.07	78.33	81.84	82.29	77.82	81.88	75.43	77.99	81.44	74.48	65.46	68.13	64.72	71.94	72.63	59.38	49.98	53.52
50歳代	82.68	80.23	83.38	84.57	80.82	85.23	80.51	82.74	84.85	79.34	70.61	71.98	70.01	77.86	79.69	68.02	60.07	63.32
60歳代	77.08	77.70	82.34	84.13	80.97	84.84	82.43	85.66	87.21	83.38	77.25	79.23	77.89	83.08	84.15	74.93	68.28	72.04
70歳代以上	56.83	62.52	68.01	71.35	67.72	69.66	68.41	72.36	73.21	71.61	66.88	69.28	67.78	69.48	71.06	63.30	59.46	60.94
全体	73.99	68.51	71.76	73.45	68.01	74.57	67.94	71.40	73.31	67.26	59.65	62.49	59.86	67.51	69.28	59.32	52.66	53.68

※①この表のうち、年代別の投票率は、全国の投票区から、回ごとに 144～188 投票区を抽出し調査したもの。

※②第 31 回の 60 歳代の投票率は 60 歳～70 歳の値に、70 歳代以上の投票率は 71 歳以上の値となっている。

※③10 歳代の投票率は、全数調査による数値である。



(%)

年	平成元	4	7	10	13	16	19	22	25	28	令和元
回	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.78	32.28
20歳代	47.42	33.35	25.15	35.81	34.35	34.33	36.03	36.17	33.37	35.60	30.96
30歳代	65.29	49.30	41.43	55.20	49.68	47.36	49.05	48.79	43.78	44.24	38.78
40歳代	70.15	54.83	48.32	64.44	61.63	60.28	60.68	58.80	51.66	52.64	45.99
50歳代	75.40	62.00	54.72	69.00	67.30	66.54	69.35	67.81	61.77	63.25	55.43
60歳代	79.89	69.87	64.86	75.24	75.05	74.21	76.15	75.93	67.56	70.07	63.58
70歳代以上	66.71	61.39	57.20	65.22	65.24	63.53	64.79	64.17	58.54	60.98	56.31
全体	65.02	50.72	44.52	58.84	56.44	56.57	58.64	57.92	52.61	54.70	48.80

※①この表のうち、年代別の投票率は、全国の投票区から、回ごとに 142～188 投票区を抽出し調査したもの。

※②10 歳代の投票率は、H28 は全数調査による数値である。

選挙権年齢が引き下げられる以前においては、60 歳代が一番高く、次いで 50 歳代、70 歳代以上、40 歳代、30 歳代、20 歳代の順となっている。10 歳代については、導入直後の平成 28 年 7 月参議院議員通常選挙では、30 歳代よりも高い投票率であったが、平成 29 年 10 月衆議院議員総選挙、令和元年 7 月参議院議員通常選挙では、20 歳代よりも高いものの、30 歳代を下回っている。

大垣市では年代別の調査が行われていないが、本市における状況も同様の傾向にあるものと推測する。

## (5) 投票環境の整備について

### 1) 投票所の配置、駐車場、バリアフリー化

令和 3 年 4 月時点で市内 40 か所ある投票所は、主に学校や地区センターが投票所となっており、すべてにおいて必要とされる駐車場があり、そのうち 12 か所には思いやり駐車場が整備されている。またバリアフリー対策として障がい（段差等）なしや常設の設備が整っている投票所は 22 か所、簡易スロープの投票所は 17 か所、人的な介助が必要な投票所は 1 か所である。ほぼすべての投票所において対策がとられており、環境整備は整っているものと思われる。

(単位:か所)

区分	地域事務所	学校	保育園	地区センター	公民館	その他	計
投票所数	1	13	2	11	2	11	40

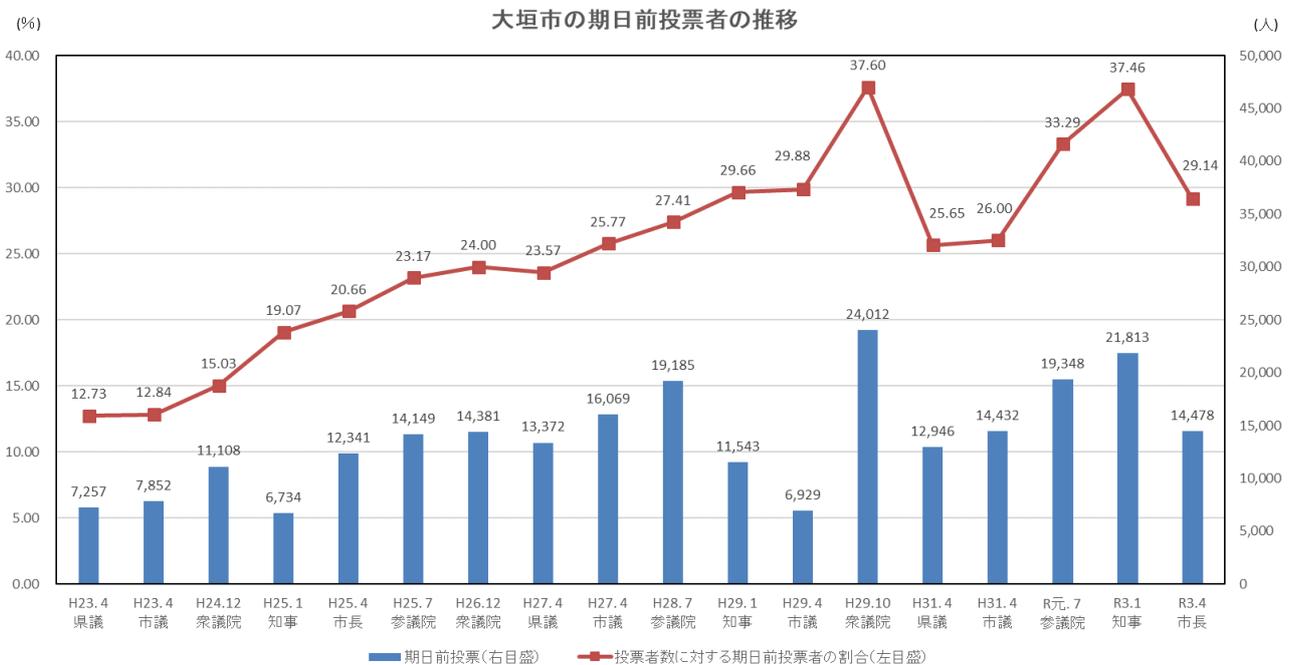
## 2) 投票区投票所以外での投票

平成 28 年 7 月参議院議員通常選挙において、市内に位置する大学で学生を対象とした期日前投票を 2 日間にわたり行った。商業施設、駅など人が多く集まる施設での投票所設置が検討されているが、定められた投票区のみでなく、複数の投票所において投票を可能にするには、二重投票の不正やミスを防ぐために、オンラインによる選挙人名簿との照合が必要となる。現状では自治体のセキュリティポリシー等が障害となって無線接続が認められていないため、専用のネットワークの設置が必要となるなど、普及への課題が見られた。

## 3) 期日前投票

大垣市における期日前投票所は、大垣市役所、上石津地域事務所及び墨俣地域事務所の 3 か所で設置している。制度導入後、投票者総数に対して期日前投票者の割合は大幅に増えている。

令和 3 年 10 月執行の衆議院議員総選挙において、大型商業施設での期日前投票所の開設を 1 日間実施した。投票日の 1 週間前の日曜日に開設し、この日の期日前投票者の合計は 4,546 人でそのうち約 26% の 1,186 人が投票した。



投票者総数に対する期日前投票者数の割合について、導入当初の平成16年7月参議院議員通常選挙においては7.43%だったが、回を追うごとに期日前投票の占める割合は増加し、平成29年10月衆議院議員総選挙では、37.60%となった。投票できる期間は選挙により異なっているが、近年でも30%前後を占めている。

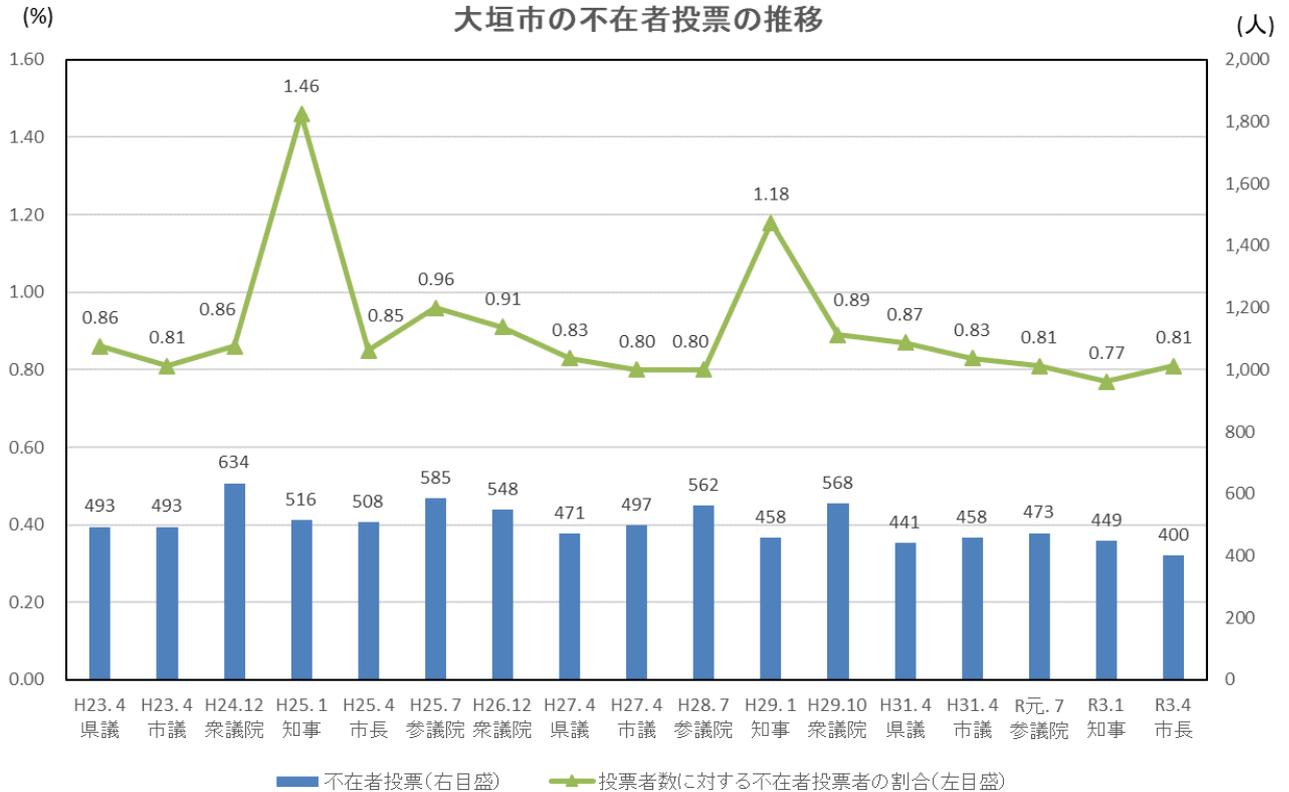
期日前投票については、十分定着してきており、制度の一層の有効活用を促し、箇所数、日数、時間など、今後の充実が望まれる。

#### 4) 不在者投票制度

投票所へ出向くことが困難な有権者への対策のひとつに不在者投票制度があげられる。不在者投票制度の主なものは、重度身体障がい者の郵便による投票や指定施設における不在者投票、住所地以外に滞在している場合の不在者投票などがある。

大垣市では、大垣市民病院ほか牧野華園など病床数50床以上の施設26か所が市内不在者投票所に指定されている。

大垣市の不在者投票者は全体の投票者数に対する不在者投票者の割合でみても平成25年の岐阜県知事選挙を除きほぼ横ばいである。



## 5) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策としては、令和2年10月に「選挙執行時における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を作成し、令和3年1月岐阜県知事選挙から、投票所における感染対策を実施されている。主な内容としては、マスク着用、アルコールによる手指消毒を徹底し、人と人の間隔を取るよう配慮するとともに、飛沫感染防止パネルや使い捨て手袋などを新たに購入した。筆記用ボールペンについては使用ごとに消毒を行うほか、有権者から申し出があれば、持参した筆記具の使用を可能とした。投票記載台など有権者が触れる備品は、除菌シートを使用して1時間に1回程度の消毒実施などを行っている。このように投票所における予防対策を徹底し、安心して投票できる環境の整備に努められている。

## (6) 啓発活動について

### 1) 常時啓発

大垣市選挙管理委員会では、選挙が行われていない時期においても選挙に対する関心を高めるため、次のとおり啓発活動が行われている。

まず、明るい選挙啓発ポスターの募集及び展示会の開催等について、市内小中高等学校の児童生徒を対象に夏休みの課題としてポスターを募集し、展示会を開催、優秀作品の表彰を行っている。展示会は、市庁舎1階の多目的スペースで開催し、優秀作品については、市ホームページで掲載されている。

また、この優秀作品を使用して啓発カレンダーを作成し、市内の学校41校、公共施設63施設に掲示を依頼した。

さらに、新規事業として、明るい選挙啓発ポスターを利用したのぼりの作成と貸し出しを行い、選挙時に市役所の庁舎のまわりや駅前、スイトピアセンターなどに設置したほか、明るい選挙推進協議会に貸し出しを行い、各種行事の際に掲示を依頼した。

また、若者に早い時期から選挙に慣れ親しんでもらうため、学校選挙への協力として、生徒会の選挙時に投票箱や記載台の貸し出しを行っている。

その他、住民票の異動及び投票方法に関する周知啓発チラシの配布を行った。学生で住民票を異動していないため実際に住んでいる地域で投票ができないケースが発生しており、これを解消するために住民票の異動を促す啓発チラシを作成し、市内の3つの大学等に配布

依頼した。

## 2) 選挙時啓発

大垣市選挙管理委員会では、各種選挙が行われるのに合わせて、できる限り多くの人々に周知するため、様々な媒体、手段を活用して啓発活動を行っている。

まず、市広報紙による啓発として、選挙が近づくに合わせ徐々に有権者の意識が高まるよう4、5回に分けて啓発記事を掲載している。

ラジオ放送では、地元AM放送局、FM放送局の各1社で毎週1回放送されている市政広報番組において選挙の投票日などを周知しているほか、ケーブルテレビ放送では、市政広報コーナーで啓発している。

インターネットによる啓発については、市ホームページに、選挙ごとに選挙のお知らせというページを作成し、投票の呼びかけを行っている。最近の選挙においては、新型コロナウイルス感染症予防のため、できるだけ密を避けるよう過去の選挙における投票日の日別時間別の混雑する時間帯を掲載されていた。

また、QRコードの活用による啓発も行っている。投票所の入場券や広報紙に掲載し、スマートフォンで読み込むことで市ホームページに誘導し投票日などの周知を行っている。

こうしたメディア利用のほか、様々な場所において放送等による呼びかけを行っており、市庁舎においては、庁内掲示や庁舎内の放送を行っている。

病院等では、大垣市民病院ほか牧野華園など市内不在者投票所に指定されている施設26か所への協力依頼により、院内放送で投票の呼びかけを行っている。

商業施設では、ショッピングモールをはじめとする市内52の施設に対して協力依頼し、館内放送により投票の呼びかけを行っているほか、大垣競輪場においても場内放送を行っている。

さらに、市広報車・ゴミ収集車の車載スピーカーからも啓発を行っており、選挙啓発用の広報車2台、ゴミ収集車17台により市内巡回中に投票の呼びかけを放送している。

掲示物による啓発では、啓発用横断幕、懸垂幕を市庁舎及び上石津地域事務所、墨俣地域事務所に掲げているほか、公用車屋根啓発看板として2台の公用車の屋根に選挙名と投票日を周知する看板を

設置し巡回している。また、公用車 54 台のボディ左右に選挙名や投票日などをシールで表示し周知を図っている。

地区センターや公共施設では、選挙期間中、立看板を設置。スイトピアセンターや駅に啓発用のぼりを設置している。啓発用ポスターを 535 枚作製し、公共施設や金融機関に依頼し掲示するとともに、県選挙管理委員会が作成した卓上のぼりを市役所各課の窓口や金融機関の窓口など約 140 か所に設置している。

そのほか、可能な限り新聞等に取り上げられるよう報道機関への情報提示による市の取り組みの紹介を行っているほか、市内全戸配布されている無料生活情報誌に記事を提供している。

### 3) 新たな選挙時啓発（令和 3 年から実施した啓発）

新しく取り入れた啓発として、手段の工夫や、対象を若年層に向けた啓発が行われていた。

まず、新たな啓発手段を取り入れ、防災行政無線を利用した放送による啓発として、令和 3 年 1 月の岐阜県知事選から、投票日当日に 1 日 5 回、2 時間おきに投票の呼びかけを行った。

啓発ポスターのぼりの設置として、明るい選挙啓発ポスターの優秀作品を活用したのぼりを作成し、公共施設に設置した。

県選挙管理委員会が作成を取りやめた卓上のぼりの代わりにカラーコピーで安価でできる代替案として卓上三角ポップを作成、設置した。

また、情報通信技術を活用した取り組みとして、令和 3 年 4 月の大垣市長選挙では、ヤフー、グーグルのバナー広告による投票日や投票所等を周知し投票の呼びかけ啓発を行った。バナー広告はランダムにパソコンやスマートフォンに表示されるもので、契約期間 10 日間で、配信地域は大垣市限定、対象者も 18 歳以上に限定で、表示回数は契約で 57 万回であった。

大垣市公式 L I N E による啓発を行った。お友達登録している人にプッシュ通知機能を使い投票日等を知らせるもので、配信日は告示日と投票日前日と 2 回行われた。配信先は登録者全員で約 1 万 4 千人であった。

投票の仕方を多くの人に知らせ投票率を向上させるため、投票の仕方の動画を市職員の手作りで作成した。活用方法としては、大垣市の公式ユーチューブチャンネルに掲載したほか、市ホームページに

掲載した。また、市役所の期日前投票所の入り口において大画面のモニターで繰り返し流した。

バナー広告やLINE、ユーチューブ配信は若者向けの施策として新しく取り入れられたもので、投票率が低い傾向にある若者をターゲットとして行われた。

その他にも、出前講座、模擬投票、新有権者向け啓発行事を行っており多くの方法により広く啓発が行われている。

また、若年層などの特定への年代を対象を絞った効果的な広報が検討されている。選挙年齢の引き下げに伴い、高校生に対する新たな取り組みや、高校生のみならず、将来有権者となる中学生、小学生に向けた学校における主権者教育の必要性が求められている。

## 第8 総括意見

今回の行政監査の結果、大垣市選挙管理委員会では、投票率向上のため、常にあらゆる機会を通じて多様な取り組みを行って努力されている。投票所における環境整備はもとより、啓発活動では毎回新しい手段を工夫し取り入れているところである。

しかしながら投票率については、選挙ごとに変動は見られるものの、多くの選挙において50%を下回る状態にある。年齢別に投票率を見た場合、若年層の投票率は、他の年齢層と比較すると低い水準にあるため、世代に合った方法を考案するなど若者に向けた取り組みを図りたい。

また、10歳代の投票率は20歳代よりも高くなっていることから、はじめのうちは選挙への関心が高いことがうかがえる。新たに選挙権を得た有権者のみならず、将来の有権者への啓発が投票率の底上げのカギとなっている。学生への主権者教育にあたっては、関係機関との連携を図り効果的な方策を研究されたい。

その他、投票に参加しやすい環境整備として、比重が高まっている期日前投票については、箇所数、日数、時間など有権者のニーズに合わせて、大いに活用して投票率の向上につなげることを期待したい。

終わりに、投票率向上への取り組みは、個々の選挙への関心を高めるだけのものではなく、主権者が自ら候補者を選び投票することで一人ひとりが政治に参加することを促すものである。今後とも、選挙制度への理解、政治に対する関心向上を図り、実効ある事業に取り組んでいただくことを期待する。

(資料編)

表 1 投票率

衆議院議員総選挙

(単位:%)

	平成12. 6.25	15.11. 9	17. 9.11	21. 8.30	24.12.16	26.12.14	29.10.22	令和3.10.31
大垣市	65.17	58.76	65.08	68.44	57.40	46.51	48.47	53.38
男	64.42	58.85	64.82	68.97	58.58	48.19	49.75	54.31
女	65.88	58.68	65.33	67.94	56.30	44.93	47.28	52.52
岐阜県平均	69.00	63.05	72.31	73.09	62.04	52.92	56.55	56.09
男	68.52	63.22	71.60	73.42	63.00	54.25	57.12	56.99
女	69.44	62.88	72.97	72.79	61.15	51.68	56.02	55.22

参議院議員通常選挙

(単位:%)

	平成13. 7.29	16. 7.11	19. 7.29	22. 7.11	25. 7.21	28. 7.10	令和元. 7.21
大垣市	51.16	53.12	55.51	54.02	47.37	53.09	44.34
男	51.41	53.58	56.21	55.04	48.77	53.87	45.62
女	50.93	52.68	54.87	53.07	46.07	52.37	43.15
岐阜県平均	58.88	59.36	61.47	59.75	52.97	60.07	51.00
男	58.78	59.56	61.78	60.47	54.02	58.31	51.78
女	58.96	59.18	61.18	59.08	52.00	57.22	50.27

(衆議院議員総選挙は小選挙区、参議院議員通常選挙は選挙区の投票率)

岐阜県知事選挙

(単位:%)

	平成 5. 1.31	9. 2. 2	13. 1.28	17. 1.23	21. 1.25	25. 1.27	29. 1.29	令和3.1.24
大垣市	36.75	35.02	35.69	35.07	30.55	27.55	29.69	44.70
男	37.38	35.47	35.79	35.47	30.95	28.69	30.31	45.42
女	36.18	34.60	35.59	34.70	30.17	26.48	29.11	44.02
岐阜県平均	51.86	45.44	46.49	43.50	38.44	33.92	36.39	48.04
男			46.22	43.52	38.59	34.53	36.52	48.00
女			46.73	43.48	38.31	33.35	36.27	48.09

(平成5年と平成9年の岐阜県平均の数字は岐阜県のHPより)

岐阜県議会議員選挙

(単位:%)

	平成 7. 4. 9	11. 4.11	15. 4.13	19. 4. 8	23. 4.10	27. 4.12	31. 4. 7
大垣市	57.69	62.72	52.16	49.50	44.65	44.37	38.76
男	56.70	61.34	51.06	48.87	44.82	44.90	39.19
女	58.59	64.00	53.19	50.08	44.49	43.88	38.36
岐阜県平均	59.12	59.34	52.55	52.47	45.70	46.83	41.55
男					45.71	46.86	41.53
女					45.68	46.80	41.57

(平成7年から平成19年の岐阜県平均の数字は岐阜県のHPより)

大垣市長選挙

(単位:%)

	平成 5. 4. 4	9. 4.13	13. 4.22	17. 4.10	21. 4.19	25. 4.14	29. 4.16	令和3.4.18
計	37.52	38.91	56.64	33.21	無投票	46.99	無投票	38.50
男	37.07	37.95	54.83	32.98	無投票	46.48	無投票	38.85
女	37.93	39.78	58.32	33.42	無投票	47.47	無投票	38.17

大垣市議会議員選挙

(単位:%)

	平成 11. 4.25	15. 4.27	19. 4.22	23. 4.24	27. 4.26	29. 4.16	31. 4.21
計	65.81	60.33	56.51	48.08	49.02	17.84	42.79
男	63.59	58.20	54.93	47.28	49.14	18.24	43.00
女	67.87	62.30	57.97	48.84	48.91	17.46	42.59

表 2 投票所一覧 駐車場有無、バリアフリー化（スロープ、人的介助）

投票区名	投票所名	駐車場	バリアフリー対策	その他
郭	大垣城ホール	有	障がい(段差等)なし	
伝馬	大垣別院	有	簡易スロープ	
旭	東地区センター	有	常設の設備	
南類	南地区センター	有	簡易スロープ	
寺内	南中学校体育館	有	簡易スロープ	
船	ゆりかご保育園	有	簡易スロープ	
久瀬川	西小学校体育館	有	簡易スロープ	
西外側	興文小学校体育館	有	障がい(段差等)なし	
室村	興文中学校体育館	有	簡易スロープ	
見取	北地区センター	有	簡易スロープ	思いやり駐車場有
笠木	笠木町公民館	有	簡易スロープ	
林	林町会館	有	簡易スロープ	
林北	貝曾根町公民館	有	常設の設備	
南杭瀬	西中学校体育館	有	障がい(段差等)なし	思いやり駐車場有
多芸島	日新地区センター	有	常設の設備	
安井	安井小学校体育館	有	簡易スロープ	
安井南	市民会館	有	常設の設備	思いやり駐車場有
宇留生	宇留生地区センター	有	常設の設備	
緑ヶ丘	緑ヶ丘会館	有	簡易スロープ	
静里	静里小学校体育館	有	常設の設備	
綾里	綾里地区センター	有	障がい(段差等)なし	思いやり駐車場有
洲本	すもと保育園	有	簡易スロープ	
浅草	江東地区センター	有	簡易スロープ	思いやり駐車場有
川並	川並地区センター	有	簡易スロープ	思いやり駐車場有
中川	中川地区センター	有	常設の設備	思いやり駐車場有
中川西	中川小学校体育館	有	常設の設備	
和合	和合地区センター	有	常設の設備	
三城	三城地区センター	有	常設の設備	
三城東	小野小学校多目的室	有	常設の設備	
荒崎	荒崎小学校体育館	有	障がい(段差等)なし	
赤坂中	赤坂中学校体育館	有	簡易スロープ	
赤坂東	赤坂小学校体育館	有	簡易スロープ	
青墓	青墓小学校体育館	有	簡易スロープ	
牧田	上石津就業改善センター	有	障がい(段差等)なし	思いやり駐車場有
一之瀬	上石津農林漁家活動促進施設	有	常設の設備	思いやり駐車場有
多良	上石津農村環境改善センター	有	常設の設備	思いやり駐車場有
西山	西山コミュニティセンター	有	人的な介助	
時	えぼしふれあい会館	有	常設の設備	思いやり駐車場有
時山	時山生活改善センター	有	障がい(段差等)なし	
墨俣	墨俣地域事務所	有	障がい(段差等)なし	思いやり駐車場有

表 3 期日前投票 投票者数、投票率

衆議院議員総選挙 (単位:人)

	平成17. 9.11	21. 8.30	24.12.16	26.12.14	29.10.22
期日前投票	6,635	13,392	11,108	14,381	24,012
投票者総数	77,116	87,752	73,915	59,929	63,855
投票者数に対する期日前投票者の割合(%)	8.60	15.26	15.03	24.00	37.60

参議院議員通常選挙 (単位:人)

	平成16. 7.11	19. 7.29	22. 7.11	25. 7.21	28. 7.10	令和 元. 7.21
期日前投票	4,665	10,735	9,627	14,149	19,185	19,348
投票者総数	62,825	71,328	69,356	61,058	69,988	58,117
投票者数に対する期日前投票者の割合(%)	7.43	15.05	13.88	23.17	27.41	33.29

(衆議院選挙は小選挙区、参議院選挙は選挙区の投票数)

岐阜県知事選挙 (単位:人)

	平成17. 1.23	21. 1.25	25. 1.27	29. 1.29	令和3.1.24
期日前投票	2,171	2,718	6,734	11,543	21,813
投票者総数	41,360	39,018	35,320	38,924	58,230
投票者数に対する期日前投票者の割合(%)	5.25	6.97	19.07	29.66	37.46

岐阜県議会議員選挙 (単位:人)

	平成19. 4. 8	23. 4.10	27. 4.12	31. 4. 7
期日前投票	4,299	7,257	13,372	12,946
投票者総数	63,085	57,029	56,737	50,471
投票者数に対する期日前投票者の割合(%)	6.82	12.73	23.57	25.65

大垣市長選挙 (単位:人)

	平成17. 4.10	21. 4.19	25. 4.14	29. 4.16	令和3.4.18
期日前投票	1,912	無投票	12,341	無投票	14,478
投票者総数	38,826	無投票	59,723	無投票	49,686
投票者数に対する期日前投票者の割合(%)	4.93		20.66		29.14

大垣市議会議員選挙 (単位:人)

	平成19. 4.22	23. 4.24	27. 4.26	29. 4.16	31. 4.21
期日前投票	5,705	7,852	16,069	6,929	14,432
投票者総数	68,524	61,141	62,359	23,193	55,511
投票者数に対する期日前投票者の割合(%)	8.33	12.84	25.77	29.88	26.00

補欠選挙

表 4 不在者投票 投票者数、投票率

衆議院議員総選挙 (単位:人)

	平成17. 9.11	21. 8.30	24.12.16	26.12.14	29.10.22
不在者投票	546	706	634	548	568
投票者総数	77,116	87,752	73,915	59,929	63,855
投票者数に対する不在者投票者の割合(%)	0.71	0.81	0.86	0.91	0.89

参議院議員通常選挙 (単位:人)

	平成16. 7.11	19. 7.29	22. 7.11	25. 7.21	28. 7.10	令和元. 7.21
不在者投票	626	651	588	585	562	473
投票者総数	62,825	71,328	69,356	61,058	69,988	58,117
投票者数に対する不在者投票者の割合(%)	1.00	0.91	0.85	0.96	0.80	0.81

(衆議院議員総選挙は小選挙区、参議院議員通常選挙は選挙区の投票数)

岐阜県知事選挙 (単位:人)

	平成17. 1.23	21. 1.25	25. 1.27	29. 1.29	令和3.1.24
不在者投票	460	522	516	458	449
投票者総数	41,360	39,018	35,320	38,924	58,230
投票者数に対する不在者投票者の割合(%)	1.11	1.34	1.46	1.18	0.77

岐阜県議会議員選挙 (単位:人)

	平成19. 4. 8	23. 4.10	27. 4.12	31. 4. 7
不在者投票	583	493	471	441
投票者総数	63,085	57,029	56,737	50,471
投票者数に対する不在者投票者の割合(%)	0.92	0.86	0.83	0.87

大垣市長選挙 (単位:人)

	平成17. 4.10	21. 4.19	25. 4.14	29. 4.16	令和3.4.18
不在者投票	458	無投票	508	無投票	400
投票者総数	38,826	無投票	59,723	無投票	49,686
投票者数に対する不在者投票者の割合(%)	1.18		0.85		0.81

大垣市議会議員選挙 (単位:人)

	平成19. 4.22	23. 4.24	27. 4.26	29. 4.16	31. 4.21
不在者投票	568	493	497	391	458
投票者総数	68,524	61,141	62,359	23,193	55,511
投票者数に対する不在者投票者の割合(%)	0.83	0.81	0.80	1.69	0.83

補欠選挙